

平成30年度 学校自己評価書

学校名

和歌山市立吹上小学校

作成日

平成31年 2月21日

1 教育目標

新しい時代を切り拓く、心豊かでたくましい人間を育成する

2 本年度の取組についての評価

	確かな学力	豊かな心	健やかな体	地域とともに
指標	<ul style="list-style-type: none"> ・県学習到達度調査で正答数が県平均を上回る。 ・毎日の勉強が分かる(児童95%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校が楽しいと感じる(児童90%) ・学校や社会のきまりを守っている(児童90%) ・いじめ解消率(100%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・給食の時間が楽しいと感じる(児童90%) ・積極的に運動を行うよう計画し、場を整備した(教員90%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の様子がよく伝わった(保護者90%) ・中学校区で接続、連携した取組を具体的に実践できた(教員90%)
重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ◎基礎・基本の確かな定着 ◎子ども主体の授業の推進 ○読書活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ◎道徳・人権教育の充実 ◎いじめの未然防止、早期発見 ○仲間づくりの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◎体力向上の推進 ◎基本的生活習慣の確立 ○危機回避能力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ◎コミュニティスクールの取組充実 ◎幼小の接続、中学校区における学校間連携の推進 ○地域の資源活用の推進
具体的な取組の状況	<ul style="list-style-type: none"> ○学級担任全員が算数または人権の研究授業を行った。(全11回) ○自分の考えを書く時間を大切に授業づくりを行った。 ○漢字の博士試験に全校で取り組んだ。 ○全校で影絵劇(文化芸術による子供育成事業)を鑑賞した。 ○読んだ本を紹介し合うなど、読書活動を推進した。 ○6年生が県立近代美術館で絵画を鑑賞する機会に恵まれた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○いじめアンケートを2回実施し、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努めた。 ○情報モラル研修会を、6年生対象に1月下旬に実施した。 ○なかよし(縦割り班)活動による掃除や遊びを、年間を通して計画的に実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭と連携して、早ね、早起き、朝ごはんをはじめとする児童の基本的生活習慣の確立に努めた。 ○育友会と連携して、なわとび練習台や一輪車を設置した。 ○給食の時間が楽しみになるよう、食育に関する掲示等を工夫した。 ○西警察署と連携して、不審者対応の避難訓練を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○春と秋に2日間、学校一日公開日を受け、授業や行事等を公開した。 ○学校は各種たよりを定期的に発行し、各学年は毎月、各学級は毎週、学校の様子について家庭に知らせた。 ○ゲストティーチャーによる研修など、外部の方の協力をいただいた学習の機会を多く設定した。 ○育友会広報誌をこれまでより年1回多く発行し、自治会で回覧していただくようにした。
指標の検証結果	<ul style="list-style-type: none"> ・県学習到達度調査で、どの学年のどの教科も、正答数が県平均を上回った。 ・漢字の博士試験の合格率は58%であった。 ・毎日の勉強が分かると感じる児童は93%であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校が楽しいと感じる児童は95%であった。 ・学校や社会のきまりを守っていると感じる児童は93.5%であった。 ・学校はいじめをなくすことに取り組んでいると考える保護者は73%であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・給食の時間が楽しいと感じる児童は91%であった。 ・積極的に運動を行うよう計画し、場を整備したと考える教員は95%であった。 ・学校は子供の安全確保に取り組んでいると考える保護者は88%であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の様子がよく伝わったと考える保護者は82%であった。 ・家庭科のミシンの実習時に、はじめてボランティアで来ていただいた方もいた。 ・中学校区で接続、連携した取組を具体的に実践できたと考える教員は100%であった。
次年度に向けての改善方法	<ul style="list-style-type: none"> ・教材研究等の授業準備に時間が割けるよう、他の校務の整理に一層努めたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の規範意識のさらなる向上を目指し、温かみのある落ち着いた学習環境を構築していきたい。 ・何でも相談し合える雰囲気大切に、児童同士、児童と教員の人間関係を醸成していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全国体力・運動能力調査の結果における、県平均または全国平均を5ポイント以上下回るスコアの種目を、さらに10以上減らしていきたい。 ・一定の運動量を確保するための場の設定を、体育の時間においては特に大切にしていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方からボランティア活動への問い合わせの電話をいただいた。関係団体の方に支援をお願いしているが、まだ個人を受け入れる体制が整っていない。このような志のある方を受け入れられる体制を早い時期に作っていく必要がある。